



末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和5年 9月号

～ 150th Anniversary ～

夏休みが終わりました

校長 高山 和宣

夏休みが明けて子どもたちが学校に戻ってきました。実は、夏休みが明ける少し前にもキッズに行っている子どもたちが私の周りに集まって楽しかった話をたくさん聞かせてくれました。長い夏休みの期間、学校生活から離れていたの、学校ではできないたくさんの思い出を作ることができたのでしょう。

夏休みの思い出には、学校で学ぶことのできない素敵な「経験知」があったと思います。この「経験知」は言葉を越えることさえあります。この夏休みに得た、「学問としての知」ではない貴重な「経験知」を、これからの学校生活や家庭での生活で是非生かして欲しいと思っています。

一方で、長い夏休みだったので、生活のリズムが不規則になっていることも少なくありません。これから冬休みまでの間は、末吉カップや 150 周年記念行事などの大きな行事があったり、学習内容も多く深くなったりします。この時期は子どもたちが 1 年間で最も成長する時でもあります。体の健康のためだけでなく学習意欲や体力、気力を高めるためにも基本的な生活習慣のリズムを戻し整えていって欲しいと思っています。

さて、体調を整えるときの大きな課題となる自然環境について少し考えてみたいと思います。暑さについては、夏休みが明けて少しずつ涼しくはなっているようですが、まだまだ猛暑は続くようです。私が小学校の頃は、夏休みであっても 30 度を超える日は数日しか無かったと記憶しています。それが今では、連日 35 度 36 度 37 度となる日も珍しくありません。命の危険さえ考えなければならない時もあります。これからますます地球温暖化は進むと言われていますから、さらに暑い夏になってくるのでしょう。

さらには、この温暖化などの環境変化によって世界各地で起こる悲惨な大きな火災や予想できない位の豪雨や巨大な台風などもあります。子どもたちが大人になるころにはどんな環境になっているのでしょうか。心配になります。

これらを防ぐためには、私たちには一度立ち止まって自然の恵みの深さに感謝して、足ることを知り、無駄な消費や廃棄を減らし、生きていることを喜び、幸せに暮らす、そんな人間らしい生き方を求められるのだと思います。

「世界中の誰一人取り残さない」をキャッチフレーズにどうしたら世界中の人が幸せになれるのかを考えた「持続可能な開発目標 (SDGs)」が国連で採択されて既に 8 年になります。横浜も SDGs 未来都市となりあちらこちらで関連するポスターなどを見るようになりました。学校でも、子どもたちの未来のためにこのような問題も身近な自分事として関心を持ち、主体的に課題解決を図っていく子の育成を進めて行きます。

学校の電話は、平日の夜間および早朝 (17:30～7:45)、土、日、国民の祝日、長期休業中の閉庁期間等はメッセージ対応としております。ご理解ご協力をお願いいたします。